



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

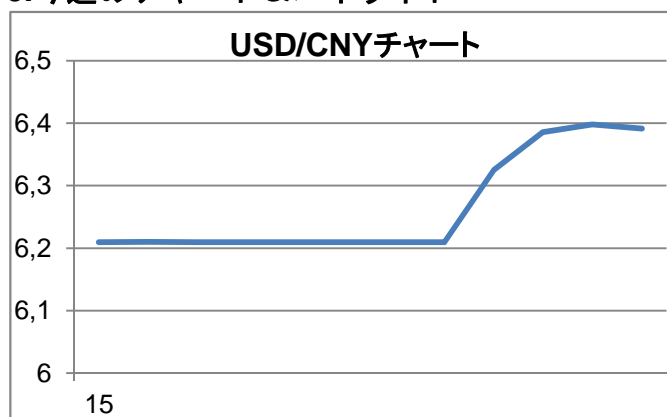
			8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,4370	3,4740	3,4800	3,5190	3,4820	-0,0370
	BRL/JPY	Spot	36,26	36,02	35,69	35,36	35,70	+0,34
	EUR/USD	Spot	1,1019	1,1043	1,1162	1,1151	1,1110	-0,0041
	USD/JPY	Spot	124,62	125,15	124,25	124,43	124,30	-0,13
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,37	14,27	14,25	14,27	14,28	+0,0093
	Future	1Year(p.a.)	14,39	14,21	14,27	14,20	14,17	-0,0308
	On-shore	6MTH(p.a.)	2,120	2,130	1,915	1,855	1,898	+0,043
	USD	1Year(p.a.)	2,810	2,861	2,598	2,557	2,626	+0,069
株式	Bovespa指数		49.353,00	49.072,34	48.388,05	48.009,57	47.508,41	-501,16
CDS	CDS Brazil 5y		318,60	312,24	304,96	307,34	304,94	-2,40
商品	CRB指数		202,452	199,312	198,897	197,830	197,969	+0,139

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は3.5130で寄り付いた。
- 週初めは原油や天然ガスなど商品相場が軒並み下げ止まったことを受けてドルは対コモディティ通貨を中心に下落したことからレアルは終日じりじりと上昇した。更にブラジル国内での政治的不安定も和らいだほか、利益確定と思しきレアル買いがレアル高圧力を強め、週間高値3.4360を付けた。
- しかし翌11日には中国が事実上の通貨切り下げに踏み切ったことを背景に同国の景気が一段と悪化すると懸念が世界的に広がり、リスク資産の売りが優勢となった。レアルはつられて一気に3.51台まで急落する展開となった。
- 週央に入ると中国人民元相場が2日間で下落率が1994年以来の大きさとなったことを受け中国経済に対する懸念からリスクオフモードが高まり、世界的に株価が大幅続落したほか金や米国債への買いも強まった。これを受けてレアルは3.50台で軟調に推移した後、中国の人民元の下落が米利上げ時期に影響を及ぼすとの思惑からレアルはやや買い戻された。
- 翌13日には中国人民元の対ドルでの下落ペースが鈍化し市場は落ち着きを取り戻した一方、ブラジル国内では低調な経済と汚職問題に関連した政治スキャンダルに対する懸念が再燃した。更に予想よりも強い経済指標を受けてドルが買われると、レアルは週間安値となる3.5280まで売られた。
- 週末にかけては反政府デモを抑える中、ルセフ大統領は承認待ちの財政調整案の承認を急がせており、承認される可能性も高いとの見方からレアルは3.46台前半まで買い戻され、結局3.4820で越週した。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所:Bloomberg

中国人民元、20年振りの大幅切り下げ

中国は人民元相場の20年振りの実質的な大幅切り下げを行った。当局は資本流出の阻止や外貨建て債務を抱える借り手の保護に加え、IMFに人民元の準備通貨としての地位を認めさせることを目的としている。人民元は今週だけで3%弱の値動きを見せた。しかし同国の景気減速に対する懸念が広まり、世界中の市場に衝撃が広がった結果、リスクオフモードが強まり、レアルを含むエマージング通貨は大きく売られた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.40－3.60

今週のレアル相場は中国人民元の下落とムーディーズによるブラジルの格下げ報道を受けてボラティリティーの高い相場となった。人民元の下落が中国の輸出を促進する一方で、同国の経済成長低迷が市場で懸念されることからリスクオフモードが強まり、コモディティ通貨も全般的に売られた。人民元の影響を受けたレアルは大きく下落した。同時にムーディーズによる格下げ発表を受けてレアルは一時的に売られるも、安定的な見通しとなったことから暫くは投資不適格となる可能性が弱まり、最終的にはレアルは買われ、市場の注目は国内問題にシフトした。国内では今週の日曜日に反政府デモが予定されており、前回よりは数少ない都市で開催させる予定であるが、政府に対する厳しい評価をするサンパウロやリオ等の都市では参加率が前回を上回ることが期待されている。ルセフ大統領は反政府ムードを少しでも和らげるために財政調整を来週には議会承認するよう、協力を得るなどの努力をしており、その努力は市場でも認められている。市場では政府交代の可能性が弱まるとの見方が強く、政治安定へ少しでも近づいている模様。来週は議会承認に注目が集まるほか、経済活動や失業率等の経済指標が相場の動向を決めるだろう。海外では引き続き人民元や経済動向のほか、米国の消費者物価指数等の指標が注目される。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	0.49%	0.34%	0.75%
米	ミシガン大学消費者マインド	93.5	92.9	93.1
米	鉱工業生産(前月比)	0.3%	0.6%	0.1%
米	PPI 最終需要(前月比)	0.1%	0.2%	0.4%
米	PPI 最終需要(前年比)	-0.9%	-0.8%	-0.7%
米	PPI (除食品・エネルギー、前月比)	0.1%	0.3%	0.3%
米	PPI (除食品・エネルギー、前年比)	0.5%	0.6%	0.8%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/10	経済活動(前月比)	Jun	-0.50%	0.03%
ブラジル	8/10	経済活動(前年比)	Jun	-1.30%	-4.75%
ブラジル	8/11	税收	Jul	--	97091M
ブラジル	8/11	FGV CPI IPC-S	Aug 16	--	0.53%
米	8/11	ニューヨーク連銀製造業景気指数	Aug	4.80	3.86
ブラジル	8/11	貿易収支(週次)	Aug 16	--	\$726M
米	8/12	ネット長期TIC700-	Jun	--	\$93.0B
米	8/12	ネットTIC700-合計	Jun	--	\$115.0B
ブラジル	8/12	FIPE CPI-週次	Aug 15	--	0.84%
ブラジル	8/13	IGP-M Inflation 2nd Preview	Aug	0.24%	0.71%
米	8/13	住宅着工件数	Jul	1188K	1174K
ブラジル	8/14	CNI産業信頼感	Aug	--	37.2
ブラジル	8/14	失業率	Jul	7.0%	6.9%
ブラジル	8/14	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Aug	0.44%	0.59%
ブラジル	8/14	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Aug	9.58%	9.25%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくご留意申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。